

糸魚川市駅北復興まちづくり計画評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 糸魚川市駅北復興まちづくり計画（以下「計画」という。）の実施にあたり、幅広い観点からの意見を聴くことにより、計画を着実に実行し、復興まちづくりを推進することを目的に、糸魚川市駅北復興まちづくり計画評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について、意見、提言等を行う。

- (1) 計画の施策評価及び進捗管理に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、計画の推進に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者の中から市長が委嘱した者（以下「委員」という。）5人以上をもって構成する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成32年3月31日までとする。ただし、任期中の委員の交代に伴う後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の任期満了後における委員の任期は、平成34年3月31日までの2か年とし、再任は妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを決める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

5 会議は、原則として公開により行うものとする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、産業部復興推進課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、告示の日から施行する。

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)																
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施概要	実施状況				評価概要	総合評価			
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33			○	△	×	—		○	△	×	
1	1	1	防災機能を高める市道の拡幅	緊急車両の通行、延焼の防止、速やかな避難を可能にする市道の幅員を確保する。	市	建設課	○	○					2	市道浜町通線ほか5路線 640mの道路改良を行った。	○				市道用地は、ほとんどの地権者から協力が得られ、短期間で拡幅工事に着手できた。	○		
2	1	2	消火設備を備えた防災公園の整備	災害時における一時避難や救護活動の場とし、延焼を防ぐ機能や防火水槽等の消火設備を備える公園を整備する。	市	建設課	○	○					2	7箇所の公園整備(総面積 約4,000㎡)のための用地買収を概ね完了させた。設計について完了できず、翌年度に繰り越した。		○			にぎわい創出広場を検討するワークショップで若者の意見を聞くことができています。公園全体の統一イメージを共有していく。	○		
3	1	3	無電柱化の推進	災害時における避難経路の確保や街なみ景観の向上を図るため、本町通りをはじめ被災地周辺の無電柱化を推進する。	市	建設課	○	○	○				3	現地調査を行うなかで、無電柱化の適用条件を整理。電線管理者と協議を重ね、本町通りなどの一部の路線で合意を得ることができた。		○			歩道がない路線での無電柱化の協議に時間を要した。	○		
4	1	4	マンホールトイレの設置	防災公園内にマンホールトイレを設置し、災害時に仮設トイレとして利用する。	市	建設課		○						(計画前)				○	—			
5	1	5	ガス、水道、下水道管整備	道路の改良・新設計画に基づき、ガス・水道・下水道管を整備する。	市	ガス水道局	○							市道仲道線ほか8路線、ガス供給管49本、水道供給管50本 区画整理事業に伴う整備 ガス管256m、水道管257m、下水道管143m	○				他事業との事前調整が上手にでき、短期間で工事に着手することができた。	○		
6	1	6	本町通りにおける延焼遮断帯の形成	本町通り沿いの建築物の防火性能を高めて延焼遮断帯とし、まち全体の防火機能を高める。	本町通り商店街振興組合、沿線住民、市	建設課	○	○	○	○			2	本町通り沿線(駅前通りから白馬通りまでの焼く350m)南北それぞれ道路境界線から12mの範囲において、建築物を準耐火建築物とする条例をH30.1.22に施行した。	○				延焼遮断帯の形成について、災害対応ということもあり、ほとんど沿線関係者から賛同を得ることができた。	○		
7	1	7	木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援	火災の延焼を防止するため、住民と連携した防災まちづくりを検討するとともに、木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援を行う。	市	建設課	○	○	○	○	○		2	住宅を再建を予定している方は全体で38件。(うち29年度は11件) 29年度の建物不燃化の取組件数は9件。	○				29年度に住宅再建を予定している方の8割程度が不燃化への取組に協力してもらうことができた。	○		
8	1	8	危険家屋の解体促進による延焼防止	木造の建築物が密集する地域内の危険家屋の解体を促進することで、火災の延焼を防止する。	市	建設課	○	○	○	○	○			・全市的に木造の建築物が密集する地域を選定する方法など検討。 ・危険空き家の除却補助制度を新設補助率1/2 上限50万円) 平成29年度 補助対象件数 2軒(うち計画地域内0軒)	○				・危険空き家の除却補助制度を利用した者の数は少ないが、補助制度が始まったばかりであることから、引き続き、危険空き家の除却の制度周知を図る。	○		
9	1	9	大型防火水槽の設置	駅北地区及び市内で木造の建築物が密集する地域等に大型防火水槽(100㎡程度)を整備する。	市	消防本部 警防課		○	○	○			1	にぎわい創出広場に200㎡、海望展望台駐車場に100㎡の防火水槽を整備する計画を定めた。	○				設置する2箇所について、駐車場や広場としての利用の妨げにならないよう、工法や位置等を考慮し整備を進める。	○		
10	1	10	海水や用水など自然水利の活用	海水取水配管システムを検討するとともに、奴奈川用水や都市排水路(城の川)からの取水箇所を増設する。	市	消防本部 警防課	○	○	○	○			1	自然水利(海水、用水)を最大限活用するため、用水取水口、海水取水口、防火水道間の空埋設管の整備計画を定めた。	○				整備計画について、消防団や自主防災組織等に周知するとともに、用水組合との連携を図っていく。	○		
11	1	11	住宅用火災警報器(連動型含む)の設置推進	火災の早期発見・消火、避難行動につなげるため、住宅用火災警報器の100%設置を目指すとともに、モデル地区を設定して連動型火災警報器の設置を推進する。	市	消防本部 予防課	○	○	○	○	○		1	消防庁が主催する連動型住宅用火災警報器の検証事業を市内3箇所で行った。一般の住宅用火災警報器の市内設置率は80%程度。	○				連動型住宅用火災警報器の取組を紹介することができた。住宅用火災警報器の普及に向けて、補助制度の新設を検討できた。	○		

(実施状況記号) 「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
(総合評価記号) 「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)													
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価		
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	—	○	△	×
12	1	12	融雪揚水の消防水利への活用	道路融雪の揚水(消雪パイプ)を消防水利の補給水として活用する。	市	消防本部 警防課	○	○											
13	1	13	消防水利看板の設置	消防活動が円滑に行えるよう、水利の位置や活動エリア等を看板に表示する。	市	消防本部 警防課	○	○	○	○									
14	1	14	避難誘導看板の設置	災害発生時、速やかに避難できるよう、避難誘導看板を設置する。	自主防災組織、市	消防本部 消防防災課	○	○	○										
15	1	15	初期消火体制の強化	住民等が行う初期消火体制を強化するため、市内木造の建築物が密集する地域等における小口径ホースなどの資機材の整備や小規模飲食店への消火器設置義務化をはじめとする消火器の設置促進と操作教育を合わせて実施する。	自主防災組織、市	消防本部 警防課	○	○	○	○									
16	1	16	消火栓の機能強化	駅北地区及び市内で木造の建築物が密集する地域等の消火栓の機能を強化する。	市	消防本部 警防課		○	○	○									
17	1	17	消防用高所監視設備の設置	火災時の飛び火警戒対策を強化するため、市内高所に監視設備を設置する。	市	消防本部 警防課		○	○	○									
18	1	18	常備消防及び消防団の初動体制の強化	常備消防及び消防団の火災等における初動体制を確立するため、人員及び資機材等を充実・強化するとともに、消防団の組織再編とあわせ、方面隊の合同訓練を実施するなどして初動体制を強化する。	市	消防本部 消防防災課	○	○	○	○									
19	1	19	関係機関、団体との応援協定の締結	県外消防本部、地元業者等と相互応援協定を締結し、迅速な対応と消防防災対策を円滑に行う。また、市外団体との大火に関する研究・連携の協定等を検討する。	市	消防本部 消防防災課	○	○											
20	1	20	強風時における飛び火対応の強化	強風時の飛び火等の対応を迅速かつ的確に行うため、飛び火等の警戒対応を定めた要領を基に訓練する。	市	消防本部 警防課	○	○	○	○	○								
21	1	21	自主防災組織等の充実、強化	災害による被害を予防・軽減するため、地域住民主体の防災活動の充実、強化を図る。	自主防災組織、自治会	消防本部 消防防災課	○	○	○	○	○								
22	1	22	消防団、自主防災組織の連携	住民等が行う初期消火等の初動体制を強化するため、消火器等を利用した初期消火の手順動画教材を作成し、消防団及び自主防災組織が連携し実働訓練に生かす。	市	消防本部 消防防災課	○	○	○	○	○								

(実施状況記号)「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
(総合評価記号) 「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)															
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価				
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	—	○	△	×		
23	1	23	消防団員の確保	次代の消防を担う新たな人材の獲得のため、若手消防団員による地域イベント等を開催し、消防団員を勧誘する。また、消防団協力事業所制度の活用等による事業所への優遇措置により、消防団員が活動しやすい環境を整える。	市	消防本部 消防防災課	○	○	○	○	○								○		
24	1	24	建物屋上からの消 火活動の取り決め	高所放水できる建物の所有者と、事前に放水利用について取り決めておく。	市	消防本部 警防課	○	○											○		
25	1	25	こども消防団の設置	自らの命を守る主体的な行動力を育成するため、防火防災の知識・技術を身につける。	学校、市	消防本部 予防課		○	○	○									○		
26	1	26	復興まちづくり版マン ホール蓋への取 替	マンホールの一部を「復興まちづくり版」カラー蓋に取替し、防火意識の啓発につなげる。	市	ガス水道 局				○	○						○				
27	1	27	市民が主役の火災 予防	防災、火災予防に資する行事や地元活動への積極的な参加を促すとともに、一般家庭防火診断や防火意識向上の広報等に取り組む。	自主防災 組織、自治 会、市	消防本部 予防課	○	○	○	○	○								○		
28	1	28	児童、生徒の防災教 育の推進	自分の命は自分で守れるよう、駅北大火の情報を整理して、防災教育を推進する。	学校、市	こども教 育課	○	○	○	○	○								○		
29	1	29	防火、防災出前講座 の実施	出前講座の実施で地域の防火機運を高め、防災活動を主導する防災リーダーを育成する。	自主防災 組織、市	消防本部 消防防災課	○	○	○	○	○								○		
30	1	30	事業所との初期消 火の体制構築	火災発生時に事業所が協力できる体制を構築する。	事業者、市	消防本部 予防課	○	○	○	○	○								○		
31	1	31	火災延焼システムの 導入検討	防火意識を高めるため、火災延焼シミュレーションシステム等の導入を検討する。	防災情報 研究所、市	消防本部 警防課	○	○	○	○	○								○		
32	1	32	防災学習のための 看板の設置	街歩きをしながら防災学習ができるように、被災地内の街角に小型の学習看板を設置する。	市	文化振興 課		○	○												
33	1	33	避難訓練の実施	避難の手順や初動避難の重要性を確認するために、避難訓練を定期的に実施する	自主防災 組織、自治 会、学校、 事業所、福 祉施設、市	消防本部 予防課、 こども課				○	○	○									
34	2	1	事業再建支援策の 拡充とUIターン創業 の促進	ビジネスチャレンジ支援事業の被災事業者への支援を拡充する。また、UIターンからの新規創業者を呼び込むため創業セミナー等を開催する。	創業支援 ネットワ ーク、市	商工農林 水産課 企業支援 室	○	○	○	○	○								○		

(実施状況記号) 「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
(総合評価記号) 「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)													
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価		
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	—	○	△	×
35	2	2	商店街等のにぎわいの創出	商店街等のにぎわい創出のため、復興市や復興セールを開催する。	商店街組織	商工農林水産課企業支援室	○												
36	2	3	仮設店舗設置等の支援	空き店舗等を活用した仮設店舗の設置等に係る経費を支援する。	商工会議所	商工農林水産課企業支援室	○	○											
37	2	4	防災とにぎわいの拠点施設の整備	復興のシンボルとして、大火の記憶を伝える防災メモリアル機能、子育ての相談窓口など暮らしを支える公共的なサービス機能を導入し、市内外の交流拠点の整備を検討する。	商工会議所、観光協会、商店街組合、各種団体、市	商工農林水産課企業支援室、消防本部	○	○	○	○									
38	2	5	にぎわい創出広場の整備	にぎわいの創出を目指して、起業を希望する者などが気軽に開店できる環境と、人が集まる広場の整備を検討する。	商工会議所、観光協会、商店街組合、各種団体、市	商工農林水産課企業支援室	○	○	○										
39	2	6	海望施設の検討	日本海に一番近い新幹線糸魚川駅の立地条件を生かした交流人口の拡大を目指して、日本海を展望できる施設の整備を検討する。	商工会議所、観光協会、市	交流観光課	○	○	○	○	○								
40	2	7	街なか駐車場の検討	市外からの誘客の強化を図るため、街なか駐車場設置に向けた適正規模・適正配置を検討する。	市	建設課	○	○	○										
41	2	8	歴史ある酒蔵、割烹の再建支援	歴史ある酒蔵、割烹の再建にあたり、回遊性を高めるための施設整備や景観形成などの公共性の高い取組を支援する。	事業者、市	商工農林水産課、建設課	○	○	○	○	○								
42	2	9	鉄道資産を活用した誘客の強化	糸魚川ジオステーション”ジオパル”における鉄道資産を活用した誘客を強化し、街なかへの回遊者の増加を図る。	市	建設課	○	○	○	○									
43	2	10	日本海と海の幸を生かした誘客の強化	北アルプス日本海広域観光連携会議による活動や大系線の利用促進を通じて長野県方面からの誘客強化を図る。また、さらなる誘客拡大のため松本糸魚川連絡道路の整備促進活動を行う。	北アルプス日本海広域観光連携会議、市	交流観光課	○	○	○	○	○								
44	2	11	防災と連携した視察ツアーの実施	防災等の視察と主要観光施設を盛り込んだツアーを実施するとともに、案内看板等の整備を行う。	糸魚川市観光協会、市	交流観光課	○	○	○	○	○								

(実施状況記号) 「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
 (総合評価記号) 「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)																
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価					
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	—	○	△	×			
45	2	12	街歩きガイドによる街の魅力発信	街歩きガイドにより、来訪者の満足度向上と商店との連携による土産物購入促進につなげる。	糸魚川ジオパーク協議会	交流観光課	○	○	○	○	○											
46	2	13	携帯アプリを活用した街なか回遊の促進	携帯アプリ「ぐるり糸魚川」を活用し、店舗情報やモデルコースの提示で回遊性を高める。	糸魚川ジオパーク協議会	交流観光課	○	○	○	○	○											
47	2	14	地酒めぐりバスの運行	糸魚川の地酒(五蔵)を結びつける二次交通の運行を行い、地酒めぐりを楽しんでもらう。	市	交流観光課		○	○	○	○					○						
48	2	15	復興キャラバン隊による情報発信	イベント等を活用し、復興の状況を市外に発信するとともに糸魚川市の観光PRをセットで行う。	糸魚川市観光協会	交流観光課	○	○	○	○	○											
49	2	16	キッズフェスタの開催	遊びや職業体験などを通じて、糸魚川への愛着心や防災意識、豊かな心を育む場を提供する。	市	生涯学習課	○	○	○	○	○											
50	2	17	子どもお楽しみ会の開催	被災地域及び近隣の子どもを元気づけるための遊びの場を提供する。	各種団体、市	生涯学習課	○															
51	2	18	あいプロジェクトの実施	藍を育て染める体験を通じて子どもたちの交流を促進する。	市	こども課	○	○	○													
52	2	19	花いっぱい活動の推進	花と緑を育むことにより、景観美化及び住民間の交流促進を図る。	各種団体、市	環境生活課	○	○	○	○	○											
53	2	20	糸魚川市美術展覧会の開催	市展で、大火で焼失したまちなみを思いおこす作品(絵画、写真)を募集・展示する。	市	文化振興課	○	○	○													
54	2	21	復興おまんた祭りの開催	おまんた祭りで復興をキーワードにした企画を実施し、市内全体で復興の機運を高める。	おまんた祭り実行委員会	交流観光課	○	○	○	○												

(実施状況記号)「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
(総合評価記号)「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)														
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価			
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	—	○	△	×	
55	2	22	ささゆり市民茶会	被災地域周辺を会場に市民茶会を開催し、焼失した駅北地区を周遊し、にぎわいを創出する。	糸魚川市文化協会	文化振興課	○	○	○	○	○							○		
56	2	23	鑑賞推進事業	地域への愛着や未来に希望を感じてもらうために、お化けの館や市民ミュージカルを実施する。	実行委員会、市	文化振興課	○	○	○									○		
57	2	24	相馬御風顕彰ふるさと俳句(短歌)大会の開催	糸魚川地区公民館で俳句(短歌)大会を開催し、御風顕彰及び文芸振興を図りながら駅北地区を吟行する。	市、糸魚川市文化協会	文化振興課	○	○	○	○	○							○		
58	2	25	雁木再生への支援	歴史的街道として、雁木のある糸魚川らしいまちなみ景観を形成するとともに、難燃材や不燃材を使用した雁木の再生を図る。	本町通り商店街振興組合、商工会議所、沿線住民、市	商工農林水産課建設課	○	○	○	○	○	3						○		
59	2	26	雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築の促進と支援	雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築を推奨し、糸魚川らしいまちなみを再生する。	本町通り商店街振興組合と周辺の商店街振興組合、商工会議所、観光協会、沿線住民、市	建設課	○	○	○	○		3						○		
60	2	27	道路や歩道の美装化	糸魚川らしいまちなみを楽しみながら商店街などを周遊、散策できるよう道路や歩道の美装化を行う。	市	建設課	○	○	○			3						○		
61	2	28	ふるさとかるたの路面表示	「糸魚川ふるさとかるた」をモチーフとした看板や路面標示(埋め込み型石盤等)を整備し、歩いて楽しめる仕掛けづくりを行う。	市	文化振興課、建設課	○	○	○									○		

(実施状況記号) 「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「—」計画前
 (総合評価記号) 「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	復興まちづくり計画(H29.8.22策定)					内部評価(個別)															
	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P	実施状況				総合評価				
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33		○	△	×	-	○	△	×		
62	2	29	まちづくりキャンパスによる人材育成	市民、事業者、団体、大学等と連携し、外部人材も活用して、地域活性化に向けて推進体制を構築するとともに、(仮称)糸魚川まちづくりキャンパスを設置して、地域の未来を担う人材を育成する。	各種団体、事業者、金融機関、大学、市	商工農林水産課 企業支援室	○	○	○	○	○	4	○						○		
63	3	1	医療、福祉や子育てサービスと連携した市営住宅の整備	被災者の生活再建支援及び多様な住宅供給により多世代が住み続けられる住環境を整備する。	事業者、市	建設課	○	○				5	○						○		
64	3	2	地場産材等を活用した復興モデル住宅の推奨、支援	地域材の利用促進や生産技術を継承した復興モデル住宅を提案・推奨するとともに、住宅等の再建を支援する。	市	商工農林水産課	○	○	○	○		3	○						○		
65	3	3	被災地域における敷地再編による木造の建築物が密集した地域の解消	小規模または不整形な住宅敷地を再編し、木造の建築物が密集した地域を解消し、良好で住みやすい宅地環境をつくる。	市	建設課	○	○				2	○						○		
66	3	4	道路側溝の改良事業	道路側溝を改良し、歩行者が安全に通行できる歩道帯を確保する。	市	建設課	○	○	○				○						○		
67	3	5	誰もが気軽に集える場づくり	日中は高齢者や子育て世代が気軽に集えるお茶のみサロンや、夜間は若者を中心に集える語らいの場づくりを推進します。	自治会、市	定住促進課	○	○	○			5	○						○		
68	3	6	生活再建のための金融等の支援(生活資金)	市内金融機関から生活再建の融資を受けた被災者にその利子(最大3年分を一括助成)を助成する。	市	福祉事務所	○					5	○						○		
69	3	7	生活再建のための金融等の支援(住宅再建)	市内金融機関から住宅再建の融資を受けた被災者にその利子1%を限度に(最大5年分)助成する。	市	建設課	○	○	○	○	○	5	○						○		
70	3	8	植栽・植樹の促進	植林によって地域の防火機能を高めるとともに、大火の記憶を受け継ぎながら、緑のある快適な住宅環境を形成する。	各種団体、市	商工農林水産課		○	○	○	○	2、6					○				
71	3	9	ホームページ等による復興情報の発信	ホームページ等で復興に向けた取組状況を全国に情報発信するとともに、記録誌を作成して大火の記憶を後世に伝える。	市	総務課	○	○	○	○	○	6	○						○		

(実施状況記号)「○」完了、実施、前倒し実施 「△」計画遅れ 「×」未着手 「-」計画前
(総合評価記号)「○」完了、拡大、計画どおり 「△」縮小、休止 「×」廃止

No.	事業No.		施策名	施策概要	事業主体	担当課	事業年度					重点P
	方針No.	連番					H29	H30	H31	H32	H33	
72	3	10	被災地域へのUIターンの促進	首都圏在住者と糸魚川市をつなぐツアー等の実施、賃貸住宅家賃補助等を拡充して、被災地域への幅広い世代のUIターンを促進する。	自治会、市	定住促進課	○	○	○	○	○	5
73	3	11	被災地域の固定資産税・都市計画税の減額	被災住宅用地の固定資産税・都市計画税の負担を軽減する。また、再建する建物及び営業用資産は、設置後4年間の税負担を軽減する。	市	市民課	○	○				
74	3	12	日常生活の支援を行う相談員の配置	精神面での支えや安否確認、生活全般の困りごと等の相談を受ける相談員を配置する。	社会福祉協議会	福祉事務所	○	○				5
75	3	13	新たな訪問診療等事業所の誘致	訪問診療、通所リハビリテーション等の体制の充実を図るため、新たに被災地周辺で開業を希望する事業所を誘致する。	事業者、市	健康増進課	○	○	○	○		
76	3	14	こころとからだの応援事業	心身の健康の保持増進を目指し、専門職による被災世帯の家庭訪問や健康相談等を実施する。	市	健康増進課	○	○				
77	3	15	健康づくりへの支援	生活費の負担軽減と健康維持のため、医療費及び介護費の一部や施設利用料の一部を補助する。	市	健康増進課	○	○				
							67	72	60	48	32	33

内部評価(個別)												
実施概要	実施状況				評価概要	総合評価						
	○	△	×	—		○	△	×				
移住体験ツアー(月1回、市内)の実施。家賃補助の補助要件緩和、空き家取得補助の補助要件の緩和、被災地域の加算200千円の上乗せ	○				移住体験・現地交流により、糸魚川市への移住を具体的に検討する方を増やすことが出てきた。	○						
住宅が焼失した敷地について、被災住宅用地として住宅用地の軽減特例を全対象地について適用した。	○				被災者の税負担を軽減することで、生活再建を後押しすることができた	○						
訪問対象世帯93世帯 実施内容:安否確認225件、相談8件、その他1件、不在88件	○				相談員と行政(健康相談業務等)との情報共有と連携を進め、引き続き、被災者の健康維持や生活の不安解消につなげていく。	○						
復興市営住宅内に開業する訪問診療所の開設者を決定、施設整備等の協議を進めた。	○				開設事業者の意向を設計に反映できた。福祉サービスや子育てサービスとの連携は今後の調整。	○						
・保健師等の全戸訪問を5回実施(延461世帯)、健康面で要支援世帯(延151世帯)へ継続訪問中 ・健康教室、健康相談事業2回延べ78人参加 ・こころの健康づくり講演会を3/1実施	○				徐々に被災による健康面への影響が減り通常の生活を取り戻してきている人が増えている。	○						
・健康づくり施設利用助成998件(299,400円) ・医療費助成 44人(483,680円) ・介護費助成 14人(141,030円) ※いずれも平成30年1月31日現在	○				・被災者の生活再建への支援、健康の維持について、支援することができ、継続要望の声も聞こえる。	○						
						68	3	0	6	71	0	0

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-1 防災機能を高める市道の拡幅

《計画概要》
緊急車両の通行、延焼の防止、速やかな避難を可能にする市道の幅員を確保する。

《事業主体》 市
《計画期間》 H29-H30

○実施概要

緊急車両の通行、延焼の防止、速やかな避難を可能にする市道の拡幅工事を施工している。(29年度整備終了予定 市道浜町通線ほか5路線、約600m)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	用地買収 工事実施	用地買収 工事実施			
実施状況	用地買収 工事実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	⇒ 今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応という側面が大きいと考えるが、市道用地については、ほとんどの地権者からの協力が得られ、短期間で拡幅工事に着手することができた。拡幅は全体計画の約8割、側溝改良は全ての工区に着手しており、5月までには全ての工事が終了する見込みである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未拡幅部分を引き続き拡幅する。

うまくいかなかった点	⇒ 改善の方法など
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の区間で協力を得られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性をねばり強く説明して協力を求める。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-2 消火設備を備えた防災公園の整備

《計画概要》

災害時における一時避難や救護活動の場とし、延焼を防ぐ機能や防火水槽等の消火設備を備える公園を整備する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

公園の位置や規模及び防火水槽の設置箇所が決定し、用地買収が概ね完了した。

公園計画箇所 7箇所 合計面積 4,000m²

○進捗状況

・実施状況 △計画遅れ

にぎわい創出のコンセプトづくりなどに時間がかかったため

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	用地買収 設計	実施設計 工事実施			
実施状況	用地買収 基本設計				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

・にぎわい創出広場の利用や整備を検討するワークショップを開催し、参加した若者などから多くの意見を集めることができた。

・専門家の手で再整理し、平成30年度内における整備に向けて設計と工事を進めていく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

設計を元成とせる予定であったが、にぎわい創出のコンセプトづくりなどに時間がかかったことから、次年度への繰越となった。

・被災地内の広場全体のイメージと防災の機能について、全体構想と基本設計業務を実施するなかで調整していく。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-3 無電柱化の推進

《計画概要》

災害時における避難経路の確保や街なみ景観の向上を図るため、本町通りをはじめ被災地周辺の無電柱化を推進する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

現地調査を行い適用条件を整理して、電線管理者と協議を重ねてきた。北陸地方無電柱化協議会の新潟地区検討部会で本町通りなど一部の路線で電線管理者の合意を得た。

○進捗状況

・実施状況 △計画遅れ

電線管理者との協議に時間を要している。

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	調査 設計	設計 工事	設計 工事	(遅れ) 工事	(遅れ) 工事
実施状況	協議 調査				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・本町通りを含めた2路線を先行して協議することができた。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・歩道がない路線での施工実績が極めて少ないことから電線管理者から合意を得るまでに時間を要した。

・工事の方法や維持管理などの課題を電線管理者との協議を重ね解消していく。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-4 マンホールトイレの設置

《計画概要》

防災公園内にマンホールトイレを設置し、災害時に仮設トイレとして利用する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30

○実施概要

計画前事業のため未実施

○進捗状況

・実施状況 一計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	—	工事	—	—	—
実施状況		工事			

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画前事業

計画前事業

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

計画前事業

計画前事業

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-5 ガス、水道、下水道管整備

《計画概要》

道路の改良・新設計画に基づき、ガス・水道・下水道管を整備する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29

○実施概要

- 道路改良工事、土地区画整理事業に伴うガス供給管、水道供給管の切廻し及び布設工事
市道仲道線ほか8路線 ガス供給管49本、水道供給管50本
- 区画整理事業に伴うガス・水道管、下水道管の整備
本町北(A2) ガス管 L=98m 水道管 L=101m 下水道管 L=52m
大町二丁目北(A3) ガス管 L=80m 水道管 L=80m 下水道管 L=54m
本町二丁目南(B2) ガス管 L=78m 水道管 L=76m 下水道管 L=37m

○進捗状況

・実施状況 ○完了

-

・スケジュール

項目/年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	<ul style="list-style-type: none"> ガス修繕11件 水道修繕14件 ガス水道下水道管布設工事3件 	—	—	—	—
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ガス修繕11件 水道修繕14件 ガス水道下水道管布設工事3件 				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・一部地域（土地区画整理事業地）で事前調整がうまくでき、短期間でガス水道工事を着手することができた。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-6 本町通りにおける延焼遮断帯の形成

《計画概要》

本町通り沿いの建築物の防火性能を高めて延焼遮断帯とし、まち全体の防火機能を高める。

《事業主体》 本町通り商店街振興組合、沿線住民、市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

本町通り沿線（駅前通りから白馬通り間約350m）南北それぞれ道路境界線から12mの範囲において、建築物を準耐火建築物以上とし、防火性能を高めて延焼遮断帯を形成し、まち全体の防火機能を高める。

- ・沿線の建物について準耐火建築物以上として条例化(H30.1)
- ・建築費用の一部助成を開始（H29.9）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		要綱等作成 都市計画 計画手続	都市計画決定 運用開始・建 築	運用	運用	—
実施状況		要綱等作成 都市計画 計画手続				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

本町通り沿いの被災者、関係者により、不燃化と景観に関する勉強会、検討会を重ね、ガイドラインを作成した。特に不燃化については、都市計画決定と条例の制定により、延焼遮断帯の形成に向けた事業推進環境を整えることができた。

景観の形成とあわせて進めていく必要があることから、引き続き、被災者はもとより建築士会や工務店協会などへの周知に努め、景観と不燃化の両立を図る。

うまくいかなかった点



改善の方法など

不燃化助成制度を設けているが、建物によってはコスト増の負担を感じるという声が聞かれている。

全体的かつ標準的な建設コストについて建築士会などの協力を得ながら確認を続ける。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-7 木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援

《計画概要》

火災の延焼を防止するため、住民と連携した防災まちづくりを検討するとともに、木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援を行う。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

本町通り沿線を除く、被災地域を重点地域と位置付け、火災に強いまちづくりを目指すため、準防火地域の仕様よりも防火性能をアップした構造とすることによる建築物の不燃化に対する支援を実施。

- ・本町通り沿線以外（重点地域）は、市独自の防火仕様を推奨
- ・建築費用の一部助成を開始（H29.9）

重点地域におけるH29年度内の再建見込は、11件中9件（81%）※
2/13現在

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	制度内容 ・検討	不燃化への支援	不燃化への支援	不燃化への支援	不燃化への支援
実施状況	制度制定 要綱策 定・実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

本町通り沿い以外の被災地については、市独自の防火仕様と助成制度を設け、被災者説明会やガイドラインでの周知した。規制によらない任意の取組であるが、ほとんどの方から取り組んでいただいております。被災地全体における不燃化促進に向けた事業推進環境を整えることができました。

景観の形成とあわせて進めていく必要があることから、引き続き、被災者はもとより建築士会や工務店協会などへの周知に努め、景観と不燃化の両立を図る。

うまくいかなかった点



改善の方法など

建物の構造上の話になるので、専門的でわかりづらいとの意見がある。

補助申請の事前相談で、わかりやすい説明を心がける。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-8 危険家屋の解体促進による延焼防止

《計画概要》

木造の建築物が密集する地域内の危険家屋の解体を促進することで、火災の延焼を防止する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

- ・被災地周辺を含めて、全市的に木造の建築物が密集する地域を選定し、施策を展開するための資料整理を実施。
- ・危険空き家の除却は補助制度を新設。(補助率1/2 上限50万円)
平成29年度 補助対象件数 2軒(うち計画地域内0軒)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	木造の建築物が密集する地域を選定	木造の建築物が密集する地域への支援策の検	木造の建築物が密集する地域への支援	木造の建築物が密集する地域への支援	木造の建築物が密集する地域への支援
実施状況	木密地域の選定、危険空き家除却補助新設				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・危険空き家の除却補助制度を利用した者の数は少ない。

・補助制度が始まったばかりであることから、引き続き、危険空き家の除却の制度周知を図る。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-9 大型防火水槽の設置

《計画概要》

駅北地区及び市内で木造の建築物が密集する地域等に大型防火水槽（100m³程度）を整備する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30-H32

○実施概要

被災地を含む密集市街地に消防水利を強化するため、耐震性能を有する大型防火水槽を設置する。

（にぎわい創出広場200m³、海望展望台駐車場100m³）

○進捗状況

・実施状況 ○前倒し実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		計画策定	設置工事	設置工事 ※前倒実施	設置工事 ※前倒実施	—
実施状況		計画策定 工事設計				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

今回の大火時における使用水量や活動人員の検証をふまえ、長時間の放水や他の消防水利が使用できない際の体制などを想定し、防火水槽の容量と設置位置について、具体化することができた。

設置する2か所（海望展望台駐車場100m³、にぎわい創出広場200m³）について、駐車場や広場としての利用の妨げにならないよう、工法や位置等を考慮し整備を進める。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-10 海水や用水など自然水利の活用

《計画概要》

海水取水配管システムを検討するとともに、奴奈川用水や都市排水路（城の川）からの取水箇所を増設する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

- ・ 奴奈川用水、城の川排水路からの取水位置を選定
- ・ 海水や消雪井戸から防火水槽への給水系統、2基の大型防火水槽をつなぐ送水管について整備計画を立案

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	計画策定	実施設計 整備工事	整備工事	整備工事 ※前倒実施	
実施状況	計画策定				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

奴奈川用水、城の川の水を最大限活用するため取水口の増設位置や城の川に逆流する海水の取水位置、大型防火水槽間をつなぐ送水管の整備内容について、具体化することができた。

次年度以降、取水口の整備を実施するとともに、新設箇所については、水利表示を行うなど、消防団や自主防災組織等への周知に努める。

また、特に海水については、機器等への悪影響もあることから、マニュアル等の整備により事前に使用時の取り決めをしておく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

市民等からご意見が多かった奴奈川用水の増水については、取水元である河川管理者と協議したが、農業用水としての水利権の関係もあり、現時点では増水ができない結果となっている。

火災発生時に速やかに通水し水量を確保できるよう、用水組合と連携して、定期的に水路の維持や管理体制の確認を行う。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-11 住宅用火災警報器（連動型含む）の設置推進

《計画概要》

火災の早期発見・消火、避難行動につなげるため、住宅用火災警報器の100%設置を目指すとともに、モデル地区を設定して連動型火災警報器の設置を推進する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

- ・ H29.11から市内3か所で国のモデル事業（連動型）を実施中
- ・ 通常の住宅用火災警報器設置率は 81%（市内全域 H29.6.1現在）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	設置推進 連動型 検証事業	設置推進 補助事業 連動型検討	設置推進 連動型設置	設置推進 連動型設置	設置推進 連動型設置
実施状況	設置促進 検証事業				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

総務省消防庁の連動型住宅用火災警報器の検証事業の採択を受け、市内3か所で実施している。（検証結果による検討は30年度）

地区全体での連動型住宅用火災警報器の設置は困難であることから、3～5世帯単位を設置基準として、県補助事業の活用も含めて、検証結果を基に市内での実施方法について検討する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

設置啓発をしたが、通常の住宅用火災警報器の設置率は約80%に留まっている。

住宅用火災警報器の設置率を高めるとともに、更新時期を迎えた機器の取替を推奨するため、次年度において、補助制度の新設を検討する。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-12 融雪揚水の消防水利への活用

《計画概要》

道路融雪の揚水（消雪パイプ）を消防水利の補給水として活用する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

災害時の消防水利を検討し、消雪パイプ井戸の揚水を防火水槽に補給する設備を3箇所選定した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	調査検討	設計 工事	工事		
実施状況	調査検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画対象地域内の消雪井戸水利用整備内容や場所などを選定することができた。

防火水槽などの関連工事と調整を図りながら整備していく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

ポンプが稼働していない冬期間以外や停電時には取水することができない。

関係機関を含めて、引き続き検討する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-13 消防水利看板の設置

《計画概要》

消防活動が円滑に行えるよう、水利の位置や活動エリア等を看板に表示する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

自然水利の取水口（グレーチング・マンホール等）と既存消防水利の位置等の看板について、被災地内の景観や他の看板等とデザインが一体となったサインにする方針を定めた。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	設置計画策定	施工	施工	施工	—
実施状況	計画案作成				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

・被災地内の景観などに配慮したサインと
する方針を定めることができた。

⇒ 今後の進め方

用水取水口の整備に合わせ実施
していく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-14 避難誘導看板の設置

《計画概要》

災害発生時、速やかに避難できるよう、避難誘導看板を設置する。

《事業主体》 自主防災組織、市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

津波等、災害を想定した避難所への誘導看板を設置した。(被災地3箇所/全市74箇所)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	設置検討 設置	設置	設置	—	—
実施状況	設置検討 設置				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

計画地内に津波災害等を想定した避難所への誘導看板を設置することができた。(3箇所)

無電柱化、道路改良などの進み具合にあわせ、随時設置していく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-15 初期消火体制の強化

《計画概要》

住民等が行う初期消火体制を強化するため、市内木造の建築物が密集する地域等における小口径ホースなどの資機材の整備や小規模飲食店への消火器設置義務化をはじめとする消火器の設置促進と操作教育を合わせて実施する。

《事業主体》 自主防災組織、市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

- ・小規模飲食店への消火器設置を義務化（H29.12から条例施行）
- ・小口径消防ホース（40mm）を用いた住民による効果検証(市内8か所)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	計画作成 条例改正 講習実施	配備 講習実施	配備 講習実施	講習実施	講習実施
実施状況	計画作成 条例改正 講習実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	今後の進め方
糸魚川市火災予防条例を改正し、小規模飲食店における消火器設置を義務化するとともに、小口径ホースの導入検証では地区住民による操作訓練を行うことで、初期消火に対する意識を高めることができた。	小規模飲食店における簡易スプリンクラーの有効性について検討する。 また、次年度以降、住民や自主防災組織が操作しやすい小口径ホースへの取替を順次進めていく。

うまくいかなかった点	改善の方法など
実際の火を消す訓練は、廃油処理等が難しい等の理由で行っていないことから、水消火器は使用できても、実際に火を見た時に消火できるか不安との声がある。	次年度、防災車（初期消火訓練車）に合わせ、実際の火を消火できる設備を購入予定で、訓練で活用し技術の向上に努めていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-16 消火栓の機能強化

《計画概要》

駅北地区及び市内で木造の建築物が密集する地域等の消火栓の機能を強化する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30-H32

○実施概要

平成29年度に計画対象地域の既設地下式消火栓2基を地上式消火栓に計画を前倒しして改修した。(全5基計画)
水道管整備事業と連携し新設又は更新計画を策定する。

○進捗状況

・実施状況 ○前倒し実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		計画策定	改修工事(消防跡地西、大瀬玩具店付近)	改修工事(子田造花店付近)	改修工事 ※前倒し実施	—
実施状況		計画策定 改修工事(京屋分店北、春よし付近)				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	今後の進め方
一部の場所で、前倒しして整備することができた。(京屋分店北、春よし付近)	地区と改修場所を協議しながら進めていく。

うまくいかなかった点	改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-17 消防用高所監視設備の設置

《計画概要》

火災時の飛び火警戒対策を強化するため、市内高所に監視設備を設置する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30-H32

○実施概要

高所監視カメラの設置は固定装置で監視範囲が限定されるため、可搬式カメラ（「スマートテレキャスター」）等によるシステムを整備した。
※現場の画像伝送、双方向会話、監視範囲の移動も可能。

○進捗状況

・実施状況 ○前倒し実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		監視体制 検討	既設利用 検討	既設利用 検討	既設利用 検討	
実施状況		監視体制 検討 機器整備				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

強風時における飛び火の高所からの監視体制について検討し、常設による監視設備は費用がかさむことから、可搬式のカメラ等による伝送装置等を整備することができた。

可搬式のカメラ等による伝送装置等を使用した高所監視の訓練を実施する。
民間高所カメラの利用について検討する。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-18 常備消防及び消防団の初動体制の強化

《計画概要》

常備消防及び消防団の火災等における初動体制を確立するため、人員及び資機材等を充実・強化するとともに、消防団の組織再編とあわせ、方面隊の合同訓練を実施するなどして初動体制を強化する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

- ・ゴーグル、ヘッドライト、頭巾、長靴などの装備品を配布した。(1,040人分)
- ・出勤区分表を見直し、第1出勤時及び強風等気象状況による消防団出勤台数を増強
- ・糸魚川、能生、青海の3方面隊による合同訓練(2回)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	体制見直し 装備品配備 訓練実施	体制見直し 装備品配備 訓練実施	装備品配備 訓練実施	装備品配備 訓練実施	装備品配備 訓練実施
実施状況	体制見直し 装備品配備 訓練実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

消防団の出勤区分表を見直し、第1出勤時及び強風時等の出勤台数を増強した。
消防団の組織体制を検討し、現場指揮本部体制を強化した。
初動マニュアルに基づき、強風時等、気象状況に応じ非番者を増員し出勤体制を強化した。

消防団現場指揮活動の強化を図るため、継続的な訓練を実施する。
強風時等、気象状況に応じた非番者等の増員体制を継続する。

うまくいかなかった点



改善の方法など

常備消防の初動体制のあり方などについて、結論がだせなかった。

引き続き、常備消防職員体制を検討する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-19 関係機関、団体との応援協定の締結

《計画概要》

県外消防本部、地元業者等と相互応援協定を締結し、迅速な対応と消防防災対策を円滑に行う。また、市外団体との大火に関する研究・連携の協定等を検討する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

- ・生コン組合（火災時小型ポンプ補給水）、市内郵便局（郵便業務特別払い等）、宿泊業関係団体（仮設住居等）3団体と新たに協定を締結
糸魚川市災害時相互応援協定数 54団体 ※H30.2.28現在
【参考：地方創生関係包括協定数：4件 ※防災減災を含むもの】
- ・県外消防本部との応援協定は、引き続き協議中

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	協定締結 応援体制 検討	協定締結 (訓練実施)	(訓練実施)	(訓練実施)	(訓練実施)
実施状況	協定締結 応援体制 検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	⇒ 今後の進め方
生コン組合他2団体（郵便局、旅館組合）と応援協定締結し、災害対応が強化された。	引き続き、関係団体と応援協定を締結し、災害対応強化を図る。 （今後の予定：(株)ゼンリン、バス所有会社、段ボールベッド製作会社）

うまくいかなかった点	⇒ 改善の方法など
県外消防本部との応援体制は、協議に時間を要している。	引き続き、新潟県からの支援もいただきながら、関係者で協議を重ねていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-20 強風時における飛び火対応の強化

《計画概要》

強風時の飛び火等の対応を迅速かつ的確に行うため、飛び火等の警戒対応を定めた要領を基に訓練する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

「強風時火災消防活動要領」を基に消防団ほか地域の自主防災組織等と合同で訓練を実施（2回）し、強風時火災の被害軽減及び連携強化に努めた。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	要領策定 訓練実施	訓練実施	訓練実施 (総合訓練)	訓練実施 要領見直	訓練実施
実施状況	要領策定 訓練実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

強風時の活動要領を策定し、訓練は概ね計画どおり実施することができた。

引き続き、住民、関係機関と連携し実施場所等を変えながら、年2回（春秋の火災予防運動）訓練を実施する。
出前講座等により、市民への飛び火対応教育を行い、今後、連携訓練の中に取り入れていく

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

--	--

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-21 自主防災組織等の充実、強化

《計画概要》

災害による被害を予防・軽減するため、地域住民主体の防災活動の充実、強化を図る。

《事業主体》 自主防災組織、自治会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

自主防災組織（77組織）が、各々に訓練を実施。希望により常備消防が出向き合同の訓練を実施した。（24回実施）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	訓練 研修	訓練 研修	訓練 研修	訓練 研修	訓練 研修
実施状況	訓練実施 研修予定				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

総合防災訓練、防災リーダー研修等を実施し、住民の防災知識などを高めることができた。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

自主防災組織の組織率は、全市で85%程度で、目標値の100%に及ばない。（全国82%）

自主防災組織の充実強化を図るため、現行の補助要件の見直しを行う。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-22 消防団、自主防災組織の連携

《計画概要》

住民等が行う初期消火等の初動体制を強化するため、消火器等を利用した初期消火の手順動画教材を作成し、消防団及び自主防災組織が連携し実働訓練に生かす。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

総合防災訓練（地区訓練含む）で、消防団と自主防災組織が連携し訓練を実施した。（27地区）
消火器による訓練を撮影したもの、関係機関からの映像資料を活用した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	訓練実施	動画作成 訓練実施	訓練実施	訓練実施	訓練実施
実施状況	訓練実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

消火器による訓練を撮影したものを活用したが、住民にわかりづらいものがあった。消防団と自主防災組織の連携は、総合防災訓練（別日程で実施の地区防災訓練含む）以外、ほとんど実施されていない。

住民が理解しやすい内容を検討し、動画を作成する。初期消火資器材配備後、消防団と自主防災組織が連携し定期的な訓練に取り組んでいく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-23 消防団員の確保

《計画概要》

次代の消防を担う新たな人材の獲得のため、若手消防団員による地域イベント等を開催し、消防団員を勧誘する。また、消防団協力事業所制度の活用等による事業所への優遇措置により、消防団員が活動しやすい環境を整える。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

若手消防団員を委員とするアクション委員会を設け、加入促進につながる事業を検討した。消防団活動に協力いただける事業所を協力事業所として3事業所認定した。(全56事業所)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	事業検討 事業所認定	事業開催 事業所認定	事業開催 事業所認定	事業開催 事業所認定	事業開催 事業所認定
実施状況	事業検討 事業所認定				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

若手消防団員を委員とするアクション委員会で、次年度以降の加入促進イベントの計画を作ることができた。

若手消防団員から出された意見を反映し、関係機関等とも連携し、計画した事業を実施していく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

消防団活動に協力いただける事業所を認定しているが、事業所にメリットがないとの声が聴かれる。
高齢団員の退団が、入団者を上回る傾向にあり、消防団員の確保が難しくなっている。

事業所から協力いただける方策を、優遇措置等も含め検討する。

機能別消防団員の確保等、適正人員も検討しながら消防団員の確保に努めていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-24 建物屋上からの消火活動の取り決め

《計画概要》

高所放水できる建物の所有者と、事前に放水利用について取り決めておく。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

火災発生時に高所から効果的に消火を行うため、事前に放水可能な建物を調査。住宅密集地域にある3階以上の耐火または準耐火建築物で、安全かつ効果的に消火活動が行えるものを平成30年3月に選定予定。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		対象建物の選定	関係者と協議			
実施状況		建物の選定中				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

住宅密集地域にある3階以上の耐火または準耐火建築物で、安全かつ効果的に消火活動が行える建物を候補としてリストアップした。(35施設)

建物関係者に使用の承諾をとり、建物への進入方法、経路等について調査確認を行い、警防計画にも反映する。

うまくいかなかった点



改善の方法など

夜間、休日等、建物が施錠されている、高所から有効に放水活動ができるか等の課題が多く、建物選定に苦慮している。

建物関係者から使用の承諾をとれたところから、現地調査確認を行っていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-25 こども消防団の設置

《計画概要》

自らの命を守る主体的な行動力を育成するため、防火防災の知識・技術を身につける。

《事業主体》 学校、市

《計画期間》 H30-H32

○実施概要

糸魚川こども消防隊を募集し39名の小学生が隊員となった。
ベスト、キャップを購入し全隊員に貸与した。復興1年事業で発足式を実施した。
出初式への参加（H30.1）、消火訓練等（H30.2）を実施した。

○進捗状況

・実施状況 ○前倒し実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	—	消防隊発足 被服貸与 訓練等実施	被服貸与 訓練等実施	被服貸与 訓練等実施	被服貸与 訓練等実施
実施状況	消防隊発足 被服貸与 訓練等実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

計画を前倒しして、「復興まちづくりシンポジウム2017」において当初の期待を上回る39名で発足することができた。
消防出初式（1月7日）への参加、放水訓練（2月3日）の実施を通じて、継続的な活動への礎を築くことができた。

年間を通じたプログラムの実施を通じて幼少期からの防災意識の向上と友達や保護者への波及効果も狙いながら進めていく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

・こどもの活動にあたっては、保護者の同意が必要であるが、実際の活動時における保護者の位置づけが不明確であった。

・保護者も子どもと一緒に活動に参加できるようにする。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-26 復興まちづくり版マンホール蓋への取替

《計画概要》

マンホールの一部を「復興まちづくり版」カラー蓋に取替し、防火意識の啓発につなげる。

《事業主体》 市

《計画期間》 H31-H32

○実施概要

(計画前)

○進捗状況

・実施状況 一計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	—	デザイン作成 蓋設置工事 ※前倒し実施	蓋設置工 事	蓋設置工 事	蓋設置工 事
実施状況	—				

○総合評価

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画前

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

計画前

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-27 市民が主役の火災予防

《計画概要》

防災、火災予防に資する行事や地元活動への積極的な参加を促すとともに、一般家庭防火診断や防火意識向上の広報等に取り組む。

《事業主体》 自主防災組織、自治会、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

駅北大火を踏まえ、木造建物が密集地区の一般家庭防火診断を実施した。
(12地区、364世帯)

毎月19日(火災予防の日)、気象状況により防火の呼びかけ、火災予防運動、消防防災フェア等で防火PRを実施した。

○進捗状況

・実施状況

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	広報実施 防火診断実施	広報実施 防火診断実施 防火教室開催	広報実施 防火診断実施 防火教室開催	広報実施 防火診断実施 防火教室開催	広報実施 防火診断実施 防火教室開催
実施状況	広報実施 防火診断実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

一般家庭防火診断では、住民の声を直接聞くことができた。

出前講座、巡回防火教室等を計画し、防火意識の高揚を図る。各種メディアを活用し継続して広報活動に取り組む。

うまくいかなかった点



改善の方法など

防火意識の向上に向けた広報は、毎年同じ手法でマンネリ感があり、違う形での広報を検討する必要がある。

こども消防隊による防災行政無線(定時放送)を使用した防火広報、街頭広報活動の実施を検討する。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-28 児童、生徒の防災教育の推進

《計画概要》

自分の命は自分で守れるよう、駅北大火の情報を整理して、防災教育を推進する。

《事業主体》 学校、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

○小学校3年生対象の社会科副読本に駅北大火についての内容を追加し作成。

○小学校4年生から中学校3年生に配布するため社会科副読本別冊を作成。

○進捗状況 -

・実施状況 実施

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	社会科副読本の作成 社会科副読本別冊の作成	社会科副読本・社会科副読本別冊の配布・活用	社会科副読本・社会科副読本別冊の配布・活用	社会科副読本・社会科副読本別冊の配布・活用	社会科副読本・社会科副読本別冊の配布・活用
実施状況	副読本・別冊ともに作成した				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画どおり実施した。(副読本・別冊ともに3月中に配付)

- ・社会科、総合的な学習の時間での地域学習時に活用していく。
- ・校内防災教育における防災プログラム実施時に活用していく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

--	--

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-29 防火、防災出前講座の実施

《計画概要》

出前講座の実施で地域の防火機運を高め、防災活動を主導する防災リーダーを育成する。

《事業主体》 自主防災組織、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

防災リーダー研修を開催し、防災リーダーを育成した。

(3月3日 109名参加)

防火・防災に関する出前講座を開催し、住民の意識醸成を図った。(24回)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	出前講座・ 研修実施	出前講座・ 研修等実施	出前講座・ 研修等実施	出前講座・ 研修等実施	出前講座・ 研修等実施
実施状況	出前講座・ 研修実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

防災リーダー研修において、簡易型図上演習(DIG)の実施、同様の課題を抱える地区同士がグループに分かれて意見交換し、災害対応への課題解決への一助となった。

今後も防災リーダー研修を継続し、防災意識の高揚を図っていく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

出前講座は希望のある地区で開催しており、地域的に偏ることがある。

開催地域に隔たりが無いよう、状況をみて行政からも積極的に働きかけていく。

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-30 事業所との初期消火の体制構築

《計画概要》

火災発生時に事業所が協力できる体制を構築する。

《事業主体》 事業者、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

計画策定地域の事業所が、火災発生時に初期消火に協力できる体制を検討する。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	体制検討	協力依頼 訓練実施	協力依頼 訓練実施	協力依頼 訓練実施	協力依頼 訓練実施
実施状況	体制検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

事業所の理解と協力をどのように得ていくか、具体的な訓練実施方法等が課題となり、消火体制を構築できなかった。

初期消火のみではなく、通常、事業所で実施している訓練（通報、住民避難誘導）を活かした方法も検討する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-31 火災延焼システムの導入検討

《計画概要》

防火意識を高めるため、火災延焼シミュレーションシステム等の導入を検討する。

《事業主体》 防災情報研究所、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

GISの活用、データをダウンロードした市街地火災延焼シミュレーションを関係課と調整。

○進捗状況

・実施状況 実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	企画検討	利用準備 出前講座 訓練実施	出前講座 訓練実施	出前講座 訓練実施	出前講座 訓練実施
実施状況	企画検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

GISの活用、システムをダウンロードし調整したが、使用できる状態に至らなかった。

消防研究センターへ当市で使用可能なソフト提供を依頼する。使用可能となれば、消防隊の図上訓練、出前講座により住民への防火教育で活用していく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-32 防災学習のための看板の設置

《計画概要》

街歩きをしながら防災学習ができるように、被災地内の街角に小型の学習看板を設置する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30-H31

○実施概要

計画前事業のため未実施

○進捗状況

・実施状況 ー計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	ー	設置場所 検討	設置	ー	ー
実施状況	ー	サイン計 画策定	設置	ー	ー

○総合評価

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 1-33 避難訓練の実施

《計画概要》

避難の手順や初動避難の重要性を確認するために、避難訓練を定期的を実施する

《事業主体》 自主防災組織、自治会、学校、事業所、福祉施設、市

《計画期間》 H30-H33

○実施概要

計画前

○進捗状況

・実施状況 一計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	—	訓練実施	訓練実施	訓練実施	訓練実施
実施状況	—				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画前

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-1 事業再建支援策の拡充とUターン創業の促進

《計画概要》

ビジネスチャレンジ支援事業の被災事業者への支援を拡充する。また、Uターンからの新規創業者を呼び込むため創業セミナー等を開催する。

《事業主体》 創業支援ネットワーク、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

事業を再建する被災事業者向けの支援策を実施した。

○ビジネスチャレンジ支援事業に大火支援枠を拡充（H29.4.1～）

・創業支援事業補助金（店舗3件、賃貸借料0件）

改築費等の1/2以内（上限200万円、中心市街地上限300万円）※被災事業者上限上乗せ

空き店舗等の賃貸借料の1/2/月（上限3万円、3年間）※被災事業所のみ

・クラウドファンディング活用支援事業

《投資型》ファンド組成経費の全額（上限80万円）被災事業者上限上乗せ、対象経費拡大

《購入型》取扱手数料の3/4（上限50万円）※被災事業者のみ

・創業支援資金利子補給事業…750万円までの借入に対する利息全額（3年間）

○創業セミナー…H30.3.17に創業家育成セミナー（1DayStartupDojo）を開催。（糸魚川市復興・活性化支援タスクフォースと創業支援ネットワークの共催）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		補助金交付、セミナー開催	補助金交付、セミナー開催	セミナー開催	セミナー開催	セミナー開催
実施状況		補助金交付、セミナー開催				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

被災事業者の再建資金補助（創業支援事業補助金被災事業者特別枠）を実施した。Uターン創業を促進するため創業セミナーを開催した。

創業支援事業の補助期間は30年度までだが、被災事業者の再建状況によっては延長の検討が必要となる。創業セミナーは継続実施する。

うまくいかなかった点



改善の方法など

・被災地への新規創業者の誘導

・不動産オーナーとの連携や公共空地の利活用によるUターン創業者の誘致を進める。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-2 商店街等のにぎわいの創出

《計画概要》

商店街等のにぎわい創出のため、復興市や復興セールを開催する。

《事業主体》 商店街組織

《計画期間》 H29

○実施概要

○糸魚川広域商店街

【大火関連】・いといがわ復興マルシェを同実行委員会に参画して開催した。11/18 約50出店 約3,000人

・お化けの館に合わせて縁日やセール、スタンプラリーを開催した。8/5~6

・クリスマスセールとガラボン抽選会を実施した。12/1~15

○駅前銀座商店街

・ヒスイロードイルミネーション(東北電力) 12/22~2/25

○にぎわい創出広場でのイベント

【大火関連】・にぎわいの光を灯せ!復興イルミネーションP(まちづくりらぼ) 12/22~1/31

【大火関連】・雪っ子だよ!広場に全員集合(まちづくりらぼ) 1/21

○進捗状況

・実施状況 ○完了

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	復興市復興セール	-	-	-	-
実施状況	マルシェ等の実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

主催となる関係団体が組織の垣根を越えてイベント事業を協働実施した。

・糸魚川広域商店街でイベント等開催(延べ18日)

・駅前銀座商店街のイルミネーション(66日間)

・にぎわい広場イベント(41日間)

広域商店街賑わい創出事業(日本海口まわー)を中心に関係機関をまきこみ、様々なイベント等を開催することができた。商店街集客に結びつけることが課題。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・イベントが商店街の集客増に結びつかない。

・広域商店街も復興マルシェ実行委員会に参画しているので、引き続き各商店街や各個店に回遊してもらう方を検討していく。
・広域商店街としては、今後ものにぎわい創出広場でイベント等が開催される際には関わり方を含めて協力体制を検討していく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-3 仮設店舗設置等の支援

《計画概要》

空き店舗等を活用した仮設店舗の設置等に係る経費を支援する。

《事業主体》 商工会議所

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

仮設店舗設置等に対する支援策を新設した。

○仮設店舗設置等支援事業

・仮設店舗の設置に係る経費 上限200万円

・家賃補助(～H30.3.31) 家賃の80%(上限8万円/月)

・ // (～H31.3.31) 家賃の50%(上限5万円/月)

・ソフト(販売促進、にぎわい創出等に関する取組)(上限150万円)

○H28年度

・店舗設置 21件 26,304千円

・家賃補助 19件 2,618千円

・ソフト 商店街スプリングセール、仮設店舗周知用共同チラシ作製、商店街のれん作成

○H29年度【新規分のみ】

・店舗設置 7件 13,219千円

・家賃補助 8件 4,674千円

・ソフト 復興マルシェ

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	補助金交付	補助金交付	-	-	-
実施状況	実施概要 のとおり				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

補助金要綱を整備し、多くの事業者にも利用してもらうことで、早期の営業再開に寄与。被災事業者からの反応も良い。

仮設店舗の補助は平成30年度末で終了予定(被災2年3か月間)。仮設から本設再建するケースが増えるため、創業支援事業補助金等の支援メニューの周知を行い、市と商工会議所で連携を取りながら、支援を行う。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

早期開業ができた反面、急ぎ賃貸契約したため、売り上げが思うように伸びない店舗もある。

広告等での販促。(3/11に再建場所等を掲載した共同チラシを作成し、新聞折り込みした)

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-4 防災とにぎわいの拠点施設の整備

《計画概要》

復興のシンボルとして、大火の記憶を伝える防災メモリアル機能、子育ての相談窓口など暮らしを支える公共的なサービス機能を導入し、市内外の交流拠点の整備を検討する。

《事業主体》 商工会議所、観光協会、商店街組合、各種団体、市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

○関係団体とのにぎわい拠点施設の検討や施設候補地の物件調査などを行った。また、官民連携による運営手段などを調査するために市内外においてサウンディング調査を行った。

・にぎわい拠点施設物件調査業務委託、糸魚川商工会議所復興まちづくり特別委員会

・官民連携可能性調査業務（商工会議所）、官民連携まちづくり会議セミナー開催12/1（国交省官民連携政策課、PPPコンシェルジュ宮本恭嗣氏）、にぎわい創出の基本コンセプト策定、基本構想の検討、サウンディング調査（事業可能性ヒアリング）実施（会議所、国土交通省等）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	機能検討 運営検討	基本計画 基本設計	実施設計 工事	工事	-
実施状況	機能検討 運営検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

・民間活用の取組みを進めるため、事業者のヒアリングやセミナーを開催し、PPP/PFIなどの民間活用の関心を高めた。

・サウンディング調査のを踏まえ、新たな発想を用いて運営することができないか検討していく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

「若者・子育て世代」をターゲットとする、にぎわいのイメージの具体化にいくらかの時間を要した。

住民や周辺の商店街などの関係者と若者・子育て世代をターゲットとするコンセプトとにぎわいのイメージを共有するため、意見交換等を継続する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-5 にぎわい創出広場の整備

《計画概要》

にぎわいの創出を目指して、起業を希望する者などが気軽に開店できる環境と、人が集まる広場の整備を検討する。

《事業主体》 商工会議所、観光協会、商店街組合、各種団体、市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

- ・これからのまちづくりを担う若者を中心に、にぎわい創出広場の整備に関する話し合い（にぎわいチャレンジミーティング）を4回開催し、整備内容を提案としてまとめた。
- ・速やかに仮整備を行い活用した。（H29.11.18から供用を開始）民間や若者が自ら広場を使ってイベントなどを実施した。（本格整備までの間は社会実験として意見聴取を目的に開放）
- ・広場活用を考える「にぎわいチャレンジミーティング」 10/30、11/24、12/6、12/20

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	機能検討 運営検討	基本計画 設計・工事	工事	-	-
実施状況	機能検討 基本設計				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

・プレイヤー（広場利用者）の意向把握

・アドバイザーとコアメンバーで設計を詰める

うまくいかなかった点



改善の方法など

・プレイヤー（運営事業者）のサウンディング、発掘

・上記が進んでいることから、当面は行政で整備を進め、社会実験を繰り返す中で、利用者の中から運営事業者の発掘、または新たな参画者の参入を促す。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-6 海望施設の検討

《計画概要》

日本海に一番近い新幹線糸魚川駅の立地条件を生かした交流人口の拡大を目指して、日本海を展望できる施設の整備を検討する。

《事業主体》 商工会議所、観光協会、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

海望施設の整備（既設海望施設のリニューアルや展望台の新設など）の案にあたり制約となる条件について、国道管理者・海岸管理者と協議中。

- ・他海望施設視察を行った。
- ・実現可能性のある施設整備案の洗い出しを行う。（想定金額含む）
- ・国道・海岸管理者と施設整備に関する協議を開始した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	関係機関協議	基本計画	実施設計業務委託	工事	工事、竣工
実施状況	協議実施中				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

基本計画策定に向けて、関係者協議が行われ、調整が必要な事項（管理区域、海岸や道路管理上必要な事項等）について協議開始ができた。
 現有施設の設計情報など基礎情報の整理を行った。

協議の中ででてきた整備範囲や工法などの課題について、引き続き国、県と協議をしていく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・現在の施設を海側にせり出した場合などの条件を想定したうえで、国道や海岸を管理する国や県と制約となる事項等について協議を進めているが、海望施設の位置付けや方向性が定まっていないため、具体案の協議に至っていない。

・防災とにぎわいの拠点施設、にぎわい創出広場などにぎわいづくりの基盤整備全体との連携が必要。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-7 街なか駐車場の検討

《計画概要》

市外からの誘客の強化を図るため、街なか駐車場設置に向けた適正規模・適正配置を検討する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

街なか駐車場の必要性を地権者に説明し、近接する道路の拡幅改良と同時に用地物件補償の交渉を行った。 街なか駐車場 A=2,000㎡、関係地権者 3名

○進捗状況

・実施状況 ○完了

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	用地買収 物件補償	物件移転 工事実施	工事実施	-	-
実施状況	用地買収 物件補償				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・一部の地権者の協力を得られていない。

・事業の必要性をねばり強く説明して協力を求める。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-8 歴史ある酒蔵、割烹の再建支援

《計画概要》

歴史ある酒蔵、割烹の再建にあたり、回遊性を高めるための施設整備や景観形成などの公共性の高い取組を支援する。

《事業主体》 事業者、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

にぎわいトライアングル形成のため、酒蔵（加賀の井酒造(株)）、割烹（鶴来家）への支援をおこなった。

（支援内容）

- ・加賀の井酒造は、製造棟酒造り見学路から人が回遊する小路を整備中あり、本町通り商店街と連携して経済産業省の補助金を活用することとした。
- ・鶴来家は仮設営業を市で支援するとともに、今後の鶴来家の再建計画について、事業主と相談中。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	事業者の意向把握	整備支援	-	-	-
実施状況	事業者の意向把握 整備支援				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

・加賀の井酒造は、商店街と市で再建策について協議し、経産省支援策の適用に至った。
・鶴来家については、事業者の再建方針に沿った支援を検討している。

・加賀の井酒造の見学路と合わせた広場的な小路の整備を計画
中。
・鶴来家は再建計画に合わせて公共性の高い取組の検討を進める。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-9 鉄道資産を活用した誘客の強化

《計画概要》

糸魚川ジオステーション” ジオパル” における鉄道資産を活用した誘客を強化し、街なかへの回遊者の増加を図る。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

- ・ JR西日本より旧トワイライトエクスプレス車両の備品を譲り受けた。
食堂車ーテーブル、椅子、照明器具、ドアなど
寝台車(スイートルーム)ーベッド、ソファ、テーブル、照明器具、ドアなど
計 約70点
- ・ 展示施設に関して、鉄道資源の活用に詳しい専門家と協議中。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	備品譲渡	詳細設計	展示施設 製作	展示施設 製作	-
実施状況	備品譲渡 実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

ジオパルでの活用に加え、街なかへの回遊性を高めるために駅北でも活用するなど、より効果的な活用方法検討の選択肢を増やすため、譲り受ける備品数を当初協議より増やすことができた。

鉄道資源の活用に詳しい専門家の提案などを踏まえて、効果的な整備方針を検討していく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-10 日本海と海の幸を生かした誘客の強化

《計画概要》

北アルプス日本海広域観光連携会議による活動や大系線の利用促進を通じて長野県方面からの誘客強化を図る。また、さらなる誘客拡大のため松本糸魚川連絡道路の整備促進活動を行う。

《事業主体》 北アルプス日本海広域観光連携会議、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

長野方面誘客営業活動の実施（長野県マスコミ訪問を2回）
海キャンペーンの実施（キャンペーンチラシ 40,000枚 キャンペーン応募 84件）
大系線を走っていた”キハ52型車”のストラップ配布（1,261個）、自転車
を鉄道車両内にそのまま持ち込める”サイクルトレイン”サービス（244
名利用）の取組

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		営業活動 広告宣伝 誘客事業	営業活動 広告宣伝 誘客事業	営業活動 広告宣伝 誘客事業	営業活動 広告宣伝 誘客事業	営業活動 広告宣伝 誘客事業
実施状況		営業活動 広告宣伝 誘客事業				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	⇒ 今後の進め方
<p>広告宣伝については、長野県のメディアと連携しながら効果的な広告を行うことができた。</p> <p>サイクルトレイン 244名利用 キハストラップ 1,261個配布</p>	<p>糸魚川地域振興局・糸魚川市観光協会と連携しながらメディアなどへのプロモーション活動をすすめる。</p>

うまくいかなかった点	⇒ 改善の方法など
<p>被災エリアにおいて、まだまだ海の幸の認知度向上を図る必要がある。観光コンテンツなどを含めて被災エリアへの流動を増大させるまでには至らなかった。</p>	<p>糸魚川市観光協会・うまいもん会と連携し、昼食需要をターゲットにした「海鮮」や「地元食材を使った食」などのブラッシュアップを図り、被災エリアへの流動を増加させる。</p>

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-11 防災と連携した視察ツアーの実施

《計画概要》

防災等の視察と主要観光施設を盛り込んだツアーを実施するとともに、案内看板等の整備を行う。

《事業主体》 糸魚川市観光協会、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

- ・視察等に関連した駅北まち歩きガイドの受付、手配【58組1,247人(2月末現在)】
- ・主要観光施設を盛り込んだツアー

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	ガイド手配 ツアー実施	ガイド手配 ツアー実施	ガイド手配 ツアー実施	ガイド手配 ツアー実施	ガイド手配 ツアー実施
実施状況	まち歩き 実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

・視察等で駅北の街歩きを希望される方にガイドを手配することができた。



今後の進め方

さらにガイドを養成し、駅北の店舗開業のスケジュールと調整しながら、主要観光施設を盛り込んだツアーを実施していく。

うまくいかなかった点

・復興中の施設がまだ多く、計画の説明にとどまっている



改善の方法など

・開業後、随時立ち寄り地としてご案内する（加賀の井酒造など）

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-12 街歩きガイドによる街の魅力発信

《計画概要》

街歩きガイドにより、来訪者の満足度向上と商店との連携による土産物購入促進につなげる。

《事業主体》 糸魚川ジオパーク協議会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

ジオパーク認定ガイドによるまち歩きガイドをH29.4から実施。
街なか女性部との連携による既存店舗とのコラボを実施

H29.12現在 45組 1,188人に実施

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		ガイド研修 HP等での広 報	ガイド研修	復興店舗との 連携、商品販 売方法の確立	-	-
実施状況		4/26、 2/10ガイド 研修実施 HP公開済み				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

- ・視察などガイドの申込も多く、災害だけではなく街の歴史や背景などについて伝えることができている。

- ・復興店舗との連携による旅行商品開発などを進める。

うまくいかなかった点



改善の方法など

- ・既存店舗との連携について街なか女性部と連携して取り組んでいるが、目的が視察などのため、街なかでの土産物や飲食にはつながっていない

- ・街なか女性部との連携を強め、復興店舗との連携を進めていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-13 携帯アプリを活用した街なか回遊の促進

《計画概要》

携帯アプリ「ぐるり糸魚川」を活用し、店舗情報やモデルコースの提示で回遊性を高める。

《事業主体》 糸魚川ジオパーク協議会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

- ・携帯アプリ「ぐるり糸魚川」のコンテンツとしてまち歩きモデルコースを設定。コースの順路、商店街の見所、店舗などの情報を紹介した。
 - ・協議会Facebook、HP等で周知
 - ・復興の状況に合わせて、見所や店舗情報などを追加・更新
- 平成29年ダウンロード数：228件

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		モデルコース設定、情報のアップデート	復興店舗の追加等	復興店舗の追加等	復興店舗の追加等	復興店舗の追加等
実施状況		モデルコース設定済み、アプリバージョンアップ実施中				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	⇒ 今後の進め方
アプリのダウンロード数は順調に伸びている	情報の充実を図っていく。

うまくいかなかった点	⇒ 改善の方法など
復興店舗情報（仮設から本設への店舗移動など）がわかりづらく、アプリに反映することができていない。	関係機関（商工会議所、情報センター）と連携して、情報収集の方法を再確認していく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-14 地酒めぐりバスの運行

《計画概要》

糸魚川の地酒（五蔵）を結びつける二次交通の運行を行い、地酒めぐりを楽しんでもらう。

《事業主体》 市

《計画期間》 H30-H33

○実施概要

計画前

○進捗状況

・実施状況 ー計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	-	バス運行	バス運行	バス運行	バス運行
実施状況	-				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

計画前（事前調整のみ）

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-15 復興キャラバン隊による情報発信

《計画概要》

イベント等を活用し、復興の状況を市外に発信するとともに糸魚川市の観光PRをセットで行う。

《事業主体》 糸魚川市観光協会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

復興の状況を市外に発信する復興キャラバン隊を5回行った。(パンフレット配布数 2,000部)

【8/23県知事訪問、10/28ネクスコ上里SAキャンペーン、11/17ネスパス糸魚川物産フェア、11/23大阪駅観光PRイベント、1/13大阪駅スキーPRイベント】

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	キャラバン実施	キャラバン実施	キャラバン実施	キャラバン実施	キャラバン実施
実施状況	キャラバン実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

他団体と連携しPR活動を行うことができたため誘客や費用などにおいて効果的に実施できた。

今後も他団体との連携によりPR活動・キャラバン隊を実施していく

うまくいかなかった点



改善の方法など

・被災エリアを含めた糸魚川市への誘導・宣伝に対する効果の測定がむずかしい。

・PRキャラバンで、宿泊券や施設招待券などを配布することにより効果測定を行う。
・被災エリアの観光コンテンツを重点的にPRしていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-16 キッズフェスタの開催

《計画概要》

遊びや職業体験などを通じて、糸魚川への愛着心や防災意識、豊かな心を育む場を提供する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29

○実施概要

地域の将来を担う子ども達が、消防士体験やネイリスト体験など、遊びながら地域の仕事体験をすることで、郷土愛や職業意識、防災意識を高めることを目的に開催。

開催日：平成29年10月7日

会場：亀が丘体育館、糸魚川市役所前

参加者：400人

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	フェスタの開催	フェスタの開催	フェスタの開催	フェスタの開催	フェスタの開催
実施状況	フェスタの開催				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

仕事と防災という新たなテーマを加えるなかで、こども達への防災意識の啓発や消防隊員(団員)などの職業教育に繋がった。

内容を見直しながら、今後も防災学習の場となるよう継続する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-17 子どもお楽しみ会の開催

《計画概要》

被災地域及び近隣の子どもを元気づけるための遊びの場を提供する。

《事業主体》 各種団体、市

《計画期間》 H29

○実施概要

被災地域に近い糸魚川地区公民館を会場に、音楽コンサートなどの機会を提供する。大火直後に集中的に行った、工作やレクリエーションなどの「子どもお楽しみ会」事業は平成28年度で区切りとし、29年度は市民団体が主催する事業に対して支援という形で実施した。

開催日：平成29年9月30日

内 容：愛とヒューマンのコンサート実行委員会によるコンサート

参加者：50人

○進捗状況

・実施状況 ○完了

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	コンサート	-	-	-	-
実施状況	コンサート	-	-	-	-

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

大火直後、地域の子どもの元気づけるために集中的に行った事業であり、「子どもお楽しみ会」として完了した。

「お楽しみ会」としては完了とし、今後は、市民団体等と連携しながら、防災に関する子ども向け事業に取り組んでいく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-18 あい・プロジェクトの実施

《計画概要》

藍を育て染める体験を通じて子どもたちの交流を促進する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

南相馬市からいただいた藍の種を栽培し、糸魚川小学校3年生72名で木綿の暖簾（ハンカチ大）に藍のなま葉染めを行い、作品を駅北大火被災地に展示した。

作品の展示場所：29年11月商店街本部（駅前）、復興情報センター

○進捗状況 -

・実施状況 ○実施

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	藍染体験	藍染体験	藍染体験	-	-
実施状況	藍染体験 の実施			-	-

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

藍の栽培時期が遅れたため、藍染めの参加が糸小3年生のみとなった。

藍の栽培工程の見直し、参加者児童の拡大と新たに被災者の参加による協同の輪が広がるよう計画する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-19 花いっぱい活動の推進

《計画概要》

花と緑を育むことにより、景観美化及び住民間の交流促進を図る。

《事業主体》 各種団体、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

花と緑を育むことにより、景観美化及び住民間の交流促進を図るため、市内の花いっぱい活動の団体等に花苗を配布した。(10,360ポット)
被災地内では、糸魚川小学校児童が花苗をプランタに移植し、本町通り商店街等に設置した。(275ポット)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		・糸魚川小学校花いっぱい運動への花苗支援	花苗支援	花苗支援	花苗支援	花苗支援
実施状況		・糸魚川小学校花いっぱい運動への花苗支援				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

糸魚川小学校児童が、被災した本町通りを花で飾り、住民の気持ちを明るくする一助となった。

糸魚川小学校児童の花いっぱい活動に加え、復興エリア内の住民同士の交流の輪を広げていく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

地域団体への依頼や花の管理（昨年状況では地域で花を管理することが困難であったため）

被災地域内で協力いただけそうな団体等に活動の趣旨などを説明し、理解を求めていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-20 糸魚川市美術展覧会の開催

《計画概要》

市展で、大火で焼失したまちなみを思いおこす作品（絵画、写真）を募集・展示する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

■糸魚川市美術展覧会（同時開催 よみがえる記憶—まちの思ひ出パネル展）

開催日：10月7日（土）～9日（月・祝） 会場：糸魚川市民会館 入場者：1,300人

・他の機会として、下記事業でも掲示の場を設けた。

よみがえる記憶—まちの思ひ出パネル展

開催日：10月11日（水）～23日（月）会場：青海総合文化会館（画廊きらら）

入場者：929人（期間中に青海地域市民芸能祭・青海美術展あり）

駅北復興まちづくりシンポジウムでの展示

開催日：12月22日（金） 会場：糸魚川市民会館エントランス 入場者：800人

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	募集・展示	募集・展示	募集・展示	—	—
実施状況	募集・展示			—	—

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

- ・来場者から好評をいただいた。（市展アンケートの「その他意見」146名中9名）

- ・市展がメインということもあり、会場容量を考慮しながら計画どおり進める。

うまくいかなかった点



改善の方法など

- ・応募作品数が少なかった。（H29年度は募集10点、市所有24点を展示）

- ・出展条件を検討する（パネル要件等）。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-21 復興おまんた祭りの開催

《計画概要》

おまんた祭りで復興をキーワードにした企画を実施し、市内全体で復興の機運を高める。

《事業主体》 おまんた祭り実行委員会

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

被災地の復興、被災者を勇気づけるお祭りとして位置付け、市民全体で復興を祈願するお祭りとして実施した。

期日 7月29日 市民約2,700人

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		復興祭り 実施	復興祭り 実施	復興祭り 実施	復興祭り 実施	-
実施状況		実施				-

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

自粛ムードがある中で、復興を祈願すること、市民が力を合わせて絆を深めるため、例年とほぼ変わらない人数で、復興祈願のお祭りとして実施できた。

また、被災者が利用できる特別招待席を設け、被災した鶴来家、畑亀商店から用意していただいた料理、飲み物を被災者に提供し、多くの被災者から喜んで利用していただいた。

⇒ 今後の進め方

一部地区（被災エリアではない地区）で参加をしていただけなかった地区があったため、開催の趣旨を根気よく説明し、大火前の参加地区数に戻すよう進めていく。

うまくいかなかった点

一部の地区から今回の開催趣旨について賛同を得られず、市民流しに参加しない地区があった。

⇒ 改善の方法など

開催趣旨の説明を行っていき、参加地区数を増やす。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-22 ささゆり市民茶会

《計画概要》

被災地域周辺を会場に市民茶会を開催し、焼失した駅北地区を周遊し、にぎわいを創出する。

《事業主体》 糸魚川市文化協会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

■第9回 ささゆり市民茶会 開催日：5月21日（日）
 会場：ヒスイ王国館・糸魚川地区公民館・相馬御風宅・いっぴく処大紅屋
 参加者：346人（一般324・子供22 …チケット販売実績）

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		実施	実施	実施	実施	実施
実施状況		実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

- ・駅北の4会場を巡ってお茶を楽しんでもらう内容で、予定どおり実施された。
- ・好天に恵まれ、まち歩きをする方も多く、着物で参加される方もいて被災地区が華やいだ雰囲気となった。
- ・大火半年後の現地から「糸魚川の元気」を発信でき、また、にぎわい創出に寄与できた。



今後の進め方

- ・平成30年度の会場として糸魚川地区公民館と大紅屋が他の予約で使用できない。また、復旧工事が本格化することで街歩きに支障があることが見込まれるため、会場・街歩きエリアを駅前通り周辺に絞ることで対応する。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-23 鑑賞推進事業

《計画概要》

地域への愛着や未来に希望を感じてもらうために、お化けの館や市民ミュージカルを実施する。

《事業主体》 実行委員会、市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

■お化けの館 8月5日～6日 ライブハウスフタバ、スペースSARA 入場者 1,153人

■糸魚復興支援ミュージカル「お化けの館 未来へつなぐために」
12月10日 糸魚川市民会館 入場者 850人

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	お化けの館	実施	実施	実施	実施	実施
	市民ミュージカル	実施	-	-	-	-
実施状況	お化けの館	実施				
	市民ミュージカル	実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・お化けの館

広域商店街組合等、地元の協力を得ている。

今後も協力者の輪を広げていく。

・市民ミュージカル

JCの組織力により多数のチケット売上げがあった。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・お化けの館

準備・撤収の要員確保に苦慮した。

専門業者への外注等も検討する。

・市民ミュージカル

練習日程などのスケジュール調整に苦慮した。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-24 相馬御風顕彰ふるさと俳句（短歌）大会の開催

《計画概要》

糸魚川地区公民館で俳句（短歌）大会を開催し、御風顕彰及び文芸振興を図りながら駅北地区を吟行する。

《事業主体》 市、糸魚川市文化協会

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

■第12回 相馬御風顕彰ふるさと俳句大会 開催日：11月25日（土）
 会 場：糸魚川地区公民館
 参加者：120人

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	俳句大会 実施	短歌大会 実施	俳句大会 実施	短歌大会 実施	俳句大会 実施
実施状況	実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

- 文化協会との共催で、計画どおり実施した。（俳句と短歌の隔年開催で、今年は俳句大会）
- 被災地域に隣接する会場で開催することによって、糸魚川の元気の発信に寄与できた。
- 有名講師の吟行により被災地の現状を発信できた。
- 応募作品に被災地を詠んだ句があり、文学作品による記憶の継承に寄与できた。



今後の進め方

- 会場は計画上は糸魚川地区公民館であるが、駅北地区内会場と読み替え、H30年度はヒスイ王国館を会場とする。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-25 雁木再生への支援

《計画概要》

歴史的街道として、雁木のある糸魚川らしいまちなみ景観を形成するとともに、難燃材や不燃材を使用した雁木の再生を図る。

《事業主体》 本町通り商店街振興組合、商工会議所、沿線住民、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

- ・被災者並びに沿線関係者を対象に勉強会（5回）並びに検討会（2回）を重ね、景観不燃化ガイドラインを策定
- ・「防災街区整備地区計画(H30.1.22より運用)」並びに「建築物の制限に関する条例(H30.1.22より施行)」を制定し、本町通り沿線に雁木を整備するための空間の確保を義務化
- ・「糸魚川市街なみ環境整備事業補助金交付要綱(H29.9.27より運用)」を策定し雁木再生を財政支援

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	要綱等作成 都市計画手続	都市計画決定 建築条例施行 運用開始	運用	運用	運用
実施状況	要綱等作成 都市計画手続 運用開始				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・再生にあたってのルール作りや、実施に必要な各種手続きは予定通り完了

・条例、要綱等の適切な運用

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

母屋の再建が先で後から雁木を再建する方が多い状況やどのように雁木を再建すれば良いか不明という意見が多い。
また、道路沿いに駐車スペースを設けるために、母屋一体でない独立型の雁木も見られている。

母屋の再建が先行していることから、独立型（4本柱）など、行政がモデル的な雁木を造ることや、雁木保存に向けた地域の活動が必要。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-26 雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築の促進と支援

《計画概要》

雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築を推奨し、糸魚川らしいまちなみを再生する。

《事業主体》 本町通り商店街振興組合と周辺の商店街組合、商工会議所、観光協会、沿線住民、市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

○「糸魚川市駅北地区街なみ環境整備要綱」を策定するとともに住民向け解説書として「景観不燃化ガイドライン」を策定（H29.9）しブロック別に説明

○「糸魚川市街なみ環境整備事業補助金交付要綱(H29.9.27より運用)」を策定し、ガイドラインに基づく建築に対し財政支援を実施

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	要綱等作成	ガイドライン 及び要綱の見直し	運用	運用	運用
実施状況	要綱等作成 運用開始				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

- ・再生にあたってのルール作りや、実施に必要な各種手続きは予定通り完了

- ・要綱等の適切な運用
- ・良好な景観整備に対する啓発活動を継続

うまくいかなかった点



改善の方法など

良好な景観形成について、被災された方々と検討会・勉強会を重ねたが、理解を得る時間を十分に確保できない状態でガイドラインの運用を開始したことから、ガイドラインに基づく再建の取組みが鈍い状況である。

再建者の声を踏まえたガイドラインの見直しや、景観形成について住民側からの盛り上げを誘導するための意識啓発などの取組みを進めていく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-27 道路や歩道の美装化

《計画概要》

糸魚川らしいまちなみを楽しみながら商店街などを周遊、散策できるよう道路や歩道の美装化を行う。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

- ・景観との調和、耐久性や事業費等を勘案し工法と実施路線を選定した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	調査検討	設計 工事	工事	(遅れ) 工事	(遅れ) 工事
実施状況	調査検討				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

事業費や周囲の景観との調和、耐久性など幅広い観点から工法の検討を行い、概ねの実施路線と工法を決定した。

耐久性や走行性などを検証するため、無電柱化の予定がなく、条件の整った路線において小規模な施工試験を実施する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

無電柱化後に施工する必要があることから、無電柱化と重複する区間において施工年次を延長しなければならない。

工事の手戻りがないように、他の関連工事との工程管理を十分に行う。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-28 ふるさとかるたの路面表示

《計画概要》

「糸魚川ふるさとかるた」をモチーフとした看板や路面標示（埋め込み型石盤等）を整備し、歩いて楽しめる仕掛けづくりを行う。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

交流観光課を主管として被災地域と周辺のサイン計画を策定予定である。No.1-26マンホール蓋、1-32防災啓発看板、街歩き案内など総合的に盛り込むもので、関係部署で種類や内容、位置などを協議しているところである。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	内容・位置等の協議	計画策定・設置場所調整	設置	-	-
実施状況	内容・位置等の協議				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> 被災地域と周辺のサイン計画を策定予定であり、No.1-26マンホール蓋、1-32防災啓発看板、街歩き案内など総合的に盛り込むことができた。 	サインの統一の協議により、景観にも配慮し、他サインとの整合がとれるよう調整することができた。

うまくいかなかった点	改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 2-29 まちづくりキャンパスによる人材育成

《計画概要》

市民、事業者、団体、大学等と連携し、外部人材も活用して、地域活性化に向けて推進体制を構築するとともに、(仮称)糸魚川まちづくりキャンパスを設置して、地域の未来を担う人材を育成する。

《事業主体》 各種団体、事業者、金融機関、大学、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

糸魚川をフィールドに大学生がワークショップ等を開催。また、10月からコーディネートを1人配置した。

- ・新潟薬科大学×慶応義塾大学大学院SDMプロジェクト
慶応SDM流ワークショップ、市内高校生をターゲットにした郷土愛醸成・主体性創出プロジェクト(2/12 写真deまちあるき開催)を実施。
- ・長岡造形大学プロジェクト
被災地周辺の都市デザインの提案、被災事業者への提案など(2/26 最終報告会「3つのまち展」開催)を実施。
- ・公益社団法人中越防災安全推進機構によるコーディネート

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		体制構築	人材育成	人材育成	人材育成	人材育成
実施状況		体制構築と試行				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・大学生(若者・市外者)の視点から、糸魚川や被災地を見つめ直し、新しい提案や刺激を得た(郷土愛醸成、主体性の創出、都市デザイン)
・参加した事業者、市民、高校生に気づきを与え、次につながる人材を発掘した。

提案や気づきは、復興まちづくりにおいて考慮・活用するとともに、引き続き、駅北を中心フィールドとして、皆で学ぶ人材育成の取組みを進める。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・今年度は大学生と市民や事業者が継続的に関われるような体制の構築までは至らなかった。

・新たな人材を発掘するため、特に若者や企業への情報発信を強化し、体制の構築に結び付ける。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-1 医療、福祉や子育てサービスと連携した市営住宅の整備

《計画概要》

被災者の生活再建支援及び多様な住宅供給により多世代が住み続けられる住環境を整備する。

《事業主体》 事業者、市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

安全・安心なまちづくりのための不燃化対策、歴史的なまちなみと調和のとれた景観形成、豊かなコミュニティ形成などをコンセプトとして、自力再建しない被災者向け復興市営住宅を整備する。

整備戸数18戸 施設1階に訪問診療所併設

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	計画設計	工事実施	完成予定	-	-
実施状況	計画 基本設計 実施設計				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

市営住宅の整備にあたっては、被災者とともに先進地を視察するなどして、入居希望者の意向を反映することができた。

また、入居者ほか周辺の住民の生活を支える機能として訪問診療所を公募により誘致することができた。

家賃や部屋割の考え方、景観や周辺への配慮などについて、入居予定者に説明していく。

また、「開かれた住宅」をコンセプトのひとつとしていることから、周辺住民の集いの場となるような取り組みを進めていく。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

福祉や子育てのサービスの提供について、具体化できなかった。

周辺の既存サービスと連携する方向で検討を進める。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-2 地場産材等を活用した復興モデル住宅の推奨、支援

《計画概要》

地域材の利用促進や生産技術を継承した復興モデル住宅を提案・推奨するとともに、住宅等の再建を支援する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

復興モデル住宅の整備は検討したが実施しない。(他の取組みを検討中)

(内覧会の実施) 3回(H29.11)

(住宅及び店舗 地域材利用促進補助)

・いといがわ木の香る家・店づくり促進事業…糸魚川産材木購入費の50%
(住宅の上限30万円、店舗の上限50万円)

申請件数：17棟のうち復興支援分7棟 H30.2.13現在

・ふるさと越後の家づくり復興支援事業(県事業)…越後杉使用量に応じて
20万円～100万円を補助(県産瓦等を使用した場合の加算あり)(地元事業者利用促進事業を併用した場合の加算あり)

申請件数：24棟のうち復興支援分3棟 H30.2.13現在

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		補助制度周知・支援	支援	支援	見直し	-
実施状況		周知・支援				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・周知活動を継続して行った結果、被災者、施工業者に制度が認知されてきている

・再建状況を見ながら、県と連携して計画を実施していく。

・H32年度以降は、申請数を見ながら通常事業に吸収する方向で検討する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・参考モデルとなる住宅を建設し再建を推進しようとしたが、適当な位置での用地が確保できなかったことや、地場産材を使用した個人の住宅の再建が進み、モデル住宅として内覧会的な催しにも協力いただいたことから、当初想定していた市が復興モデル住宅を建築する計画については取り組まないこととした。

・景観不燃化ガイドラインに沿ったモデル的な建物を公募し、特に優れた建築物の建築主、設計者、施工者を表彰する制度などでの実施を検討する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-3 被災地域における敷地再編による木造の建築物が密集した地域の解消

《計画概要》

小規模または不整形な住宅敷地を再編し、木造の建築物が密集した地域を解消し、良好で住みやすい宅地環境をつくる。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

A1-2、A-2,A-3、B-2及びB-3地区で、市が権利者より同意を得て個人施行の敷地再編（土地区画整理事業）を実施。このうち1地区では土地区画整理事業と併せ市営住宅用地を確保

- ・H29.11までに全ての地区の仮換地指定を終了し再建が可能となった。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	事業計画 認可	換地処分	-	-	-
実施状況	事業計画 認可				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・少人数の権利者工区の設定としたことで、きめ細かく意思疎通を図ることができ、短期間で実施することができた。

・地区に関連する道路工事完成後に換地処分を行い事業完了する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-4 道路側溝の改良事業

《計画概要》

道路側溝を改良し、歩行者が安全に通行できる歩道帯を確保する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

道路側溝を改良し、歩行者が安全に通行できる歩道帯を確保した。
全体延長 約400m

○進捗状況

・実施状況 ○前倒し実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	工事	工事	工事	-	-
実施状況	工事				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

- ・計画した改良区間の全部を、当初の予定より早く完了することができた。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-5 誰もが気軽に集える場づくり

《計画概要》

日中は高齢者や子育て世代が気軽に集えるお茶のみサロンや、夜間は若者を中心に集える語らいの場づくりを推進します。

《事業主体》 自治会、市

《計画期間》 H29-H31

○実施概要

- ・復興まちづくり情報センターを拠点とした集える場づくりにも取り組んだ。(利用者数1,321人) 30年2月28日現在
- ・被災地区の自治会等で行われる「お楽しみ会」や「サロン」等への活動を支援した。
- ・「まちづくりカフェ」(4回)や「チャレンジミーティング」(4回)の開催により、集える場づくりや、まちづくりを考える契機とすることができた。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	交流の場づくり、活動支援	交流の場づくり、活動支援	交流の場づくり、活動支援	—	—
実施状況	交流の場づくり、活動支援				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり情報センターなどを拠点に、被災4地区との定期会議や「まちづくりカフェ」(4回)や「チャレンジミーティング」(4回)を開催し、被災者や周辺住民が集える場づくりやまちづくりを考える契機とすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度からは、復興まちづくり情報センターとして、被災地区の地域づくり活動や商店街の活動を支援することで、コミュニティの維持やにぎわいづくりにつなげていく。

うまくいかなかった点	改善の方法など
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の再建など相談内容が多岐にわたることから、センターですべて対応することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談曜日(建築、生活、経営等)を設定して、相談体制を整えるなど、関係団体や行政などと連携しながら対応していく。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-6 生活再建のための金融等の支援（生活資金）

《計画概要》

市内金融機関から生活再建の融資を受けた被災者にその利子（最大3年分を一括助成）を助成する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29

○実施概要

平成30年1月31日現在 利子補給金支払件数 1件

（融資制度概要）駅北大火で被災された方を対象にした融資（生活資金、自動車購入）について、1世帯につき350万円を上限に、利子の一部（上限2.7%）を助成した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	利子補給	(延長) 利子補給	(延長) 利子補給	-	-
実施状況	利子補給				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

生活再建支援金や義援金のおかげもあるせいか、利用自体はいずれも数件にとどまっている。

生活再建の動きに対応して、金融支援の申請期間を平成32年1月31日まで延長する。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-7 生活再建のための金融等の支援（住宅再建）

《計画概要》

市内金融機関から住宅再建の融資を受けた被災者にその利子1%を限度に（最大5年分）助成する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

住宅再建に係る市内金融機関からの借入金に対する利子補給

■対象融資額

住宅の建設購入：11,000千円／1件、住宅の補修：5,900千円／1件

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		運用 実施	運用 実施	運用 実施	運用 実施	運用 実施
実施状況		運用 実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

生活再建支援金や義援金のおかげもあるせいか、利用自体はいずれも数件にとどまっている。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-8 植栽・植樹の促進

《計画概要》

植林によって地域の防火機能を高めるとともに、大火の記憶を受け継ぎながら、緑のある快適な住宅環境を形成する。

《事業主体》 各種団体、市

《計画期間》 H30-H33

○実施概要

【計画前】

- ・準備として、景観不燃化ガイドラインで個人再建での緑化を位置付け。
- ・防災公園(広場)の整備時に併せて実施予定

○進捗状況

・実施状況 ー計画前

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	-	計画・植樹活動	植樹活動	植樹活動	植樹活動
実施状況	-				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

系魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-9 ホームページ等による復興情報の発信

《計画概要》

ホームページ等で復興に向けた取組状況を全国に情報発信するとともに、記録誌を作成して大火の記憶を後世に伝える。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

復興ホームページ「HOPE系魚川」で復興に向けた取組状況を全国に情報発信している。(閲覧件数 50,423件 H29.12.1~H30.2.28)

また、大火の記録を後世に伝えるため、1年間の記録としての「記録誌」及び「副読本」を作成した。

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	HP構築 記録誌作成	HPコン テンツ充 実	HPコン テンツ充 実	HPコン テンツ充 実	HPコン テンツ充 実
実施状況	HP構築 記録誌作成				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

次のものを年度内に作成・実施できた。
 ・復興ホームページ「HOPE系魚川」(本稼働2月1日)
 ・記録誌、復興副読本
 ・「復興まちづくりシンポジウム2017」

よりタイムリーな情報発信に努める

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

復興に関するすべての情報を行政だけで集めることが難しかった。

復興まちづくり情報センターなどを通じて、関係者(団体)との連携を図る。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-10 被災地域へのUターン者の促進

《計画概要》

首都圏在住者と糸魚川市をつなぐツアー等の実施、賃貸住宅家賃補助等を拡充して、被災地域への幅広い世代のUターンを促進する。

《事業主体》 自治会、市

《計画期間》 H29-H33

○実施概要

市内を対象に移住体験ツアーを実施。被災地を含めてフィールドワークを行った。Uターン者用の住まいの補助事業の拡充に向けて制度設計を図った。

●移住体験ツアー（月1回、1泊2日の田舎暮らし体験）やインターンシップ事業（1か月程度滞在し、暮らしと仕事を体験）等により被災地域に限らず、糸魚川市と首都圏在住者の移住体験・現地交流を行った。

●H30.4.1要綱改正予定。拡充の対象は、復興まちづくり計画対象地域17ha内の賃貸住宅や、空き家バンク登録空き家

【拡充内容】・家賃補助…年齢要件撤廃

・空き家取得補助…年齢要件撤廃、被災地域加算200千円

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		制度設計	Uターン者向けツアー、家賃補助の拡充			
実施状況		制度設計 移住体験ツアーの実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

移住体験・現地交流により、糸魚川市（中心市街地）への移住を具体的に検討する方を増やすことができた。

移住に向けてのフォローを継続していく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

空き家取得補助は、いえかつ糸魚川の空き家バンク登録が条件となっているが、登録が進まなかった。

地区、いえかつ糸魚川と連携し、空き家バンクへの登録を促進する。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-11 被災地域の固定資産税・都市計画税の減額

《計画概要》

被災住宅用地の固定資産税・都市計画税の負担を軽減する。また、再建する建物及び営業用資産は、設置後4年間の税負担を軽減する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

住宅が焼失した敷地について、被災住宅用地として住宅用地の軽減特例を全対象地について適用した。

(軽減内容)

固定資産税 200㎡以下は課税標準額が、価格の1/6

200㎡を超え住宅の延べ床面積の10倍までは課税標準額が、価格の1/3

都市計画税 200㎡以下は課税標準額が、価格の1/3

200㎡を超え住宅の延べ床面積の10倍までは課税標準額が、価格の2/3

(軽減内容) 設置後4年間税額が1/2

被災した建物及び営業用資産の代替資産に対する軽減特例は、代替資産の取得に合わせて軽減が適用となります。

○進捗状況

・実施状況 実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	市税軽減	市税軽減	-	-	-
実施状況	実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-12 日常生活の支援を行う相談員の配置

《計画概要》

精神面での支えや安否確認、生活全般の困りごと等の相談を受ける相談員を配置する。

《事業主体》 社会福祉協議会

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

○実施期間 平成29年7月1日～平成31年3月31日

○支援対象世帯 93世帯

実施件数322件（うち安否確認225件、相談8件、その他1件、不在88件） ※平成29年7月から平成30年1月まで

○事業内容

(1)戸別訪問（被災世帯毎月1回程度訪問） 安否確認、悩み事相談、心のケア、生活再建情報の提供

(2)拠点型（サロン等）の支援 被災者が自由に集える場所の開設、被災者同士の近況報告

(3)イベント型支援（2か月に1回程度） 被災者と被災地域区民の交流会

(4)被災区支援（被災4地区） 中止や縮小される被災区の行事への支援

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		戸別訪問、拠点型支援、イベント型支援、被災区支援	戸別訪問、拠点型支援、イベント型支援、被災区支援	-	-	-
実施状況		戸別訪問、拠点型支援、イベント型支援、被災区支援				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

訪問を重ねるなかで、何でも相談できる関係ができつつある。また、健康面や精神面で不安定な被災者を、市保健師などへ繋ぐことができた。

引き続き被災者の生活再建に合わせた見守りや支援を続けていく。

うまくいかなかった点



改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-13 新たな訪問診療等事業所の誘致

《計画概要》

訪問診療、通所リハビリテーション等の体制の充実を図るため、新たに被災地周辺で開業を希望する事業所を誘致する。

《事業主体》 事業者、市

《計画期間》 H29-H32

○実施概要

復興市営住宅内に開業する訪問診療所の開設者を決定、施設整備等の協議を進めた。(メドアグリクリニック ※茨城県の事業所)

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		開設者の誘致、決定	開設準備	開業		-
実施状況		開設者の誘致、決定				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

・開設事業者と良好な関係を築いており、意見等をもとに建物設計に反映し、開業に向けた準備をすることができた。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

・開設事業者の福祉サービスの提供も期待していたが、施設面積や事業者側の意向により断念した。

・市内既存福祉施設との連携により、居住者へのサービスの提供に努める。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-14 ところとからだの応援事業

《計画概要》

心身の健康の保持増進を目指し、専門職による被災世帯の家庭訪問や健康相談等を実施する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

- 1 保健師、看護師による被災世帯全戸訪問、要支援世帯へ継続支援。
5回実施（延461世帯）
健康面で要支援世帯（延151世帯）へ継続訪問中
- 2 健康教室、健康相談
7/12中央区「メンタルヘルス」38名参加
7/24新七区「熱中症予防」40名参加
- 3 こころの健康づくり講演会
被災者説明会等延22名。被災者、市民、関係者を対象に3/1実施

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目	年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画		訪問、相談、講演会等の実施	訪問、相談、講演会等の実施	-	-	-
実施状況		訪問、相談、講演会等の実施				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点

⇒ 今後の進め方

時間の経過と共にストレスの内容も変化する、身体やこころの健康に影響を与えるため、被災者の状況に合わせて実施することができた。

徐々に被災による健康面への影響が減り通常の生活を取り戻してきている人が増えているため、計画終了後は通常事業の中で必要な方に個別の対応予定。

うまくいかなかった点

⇒ 改善の方法など

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 評価シート(個別)

○施策名 3-15 健康づくりへの支援

《計画概要》

生活費の負担軽減と健康維持のため、医療費及び介護費の一部や施設利用料の一部を補助する。

《事業主体》 市

《計画期間》 H29-H30

○実施概要

健康づくり施設の利用券の助成するとともに、医療費及び介護費を助成した。

○健康づくり施設利用助成 (998件 総額299,400円の利用 平成30年1月31日現在)

対象施設9施設、1回300円、50回分の助成券を配布

○医療費助成 (44人 総額483,680円の利用 平成30年1月31日現在)

医療費自己負担額の1/2(2万円/月を上限)を申請により助成

○介護費助成 (14人 総額141,030円の利用 平成30年1月31日現在)

介護保険利用者負担額の1/4(6万円/年を上限)を申請により助成

総合事業利用者負担額の1/4(12万円/年を上限)を申請により助成

○進捗状況

・実施状況 ○実施

-

・スケジュール

項目 \ 年度	H29	H30	H31	H32	H33
当初計画	施設利用及び費用助成	施設利用及び費用助成	-	-	-
実施状況	施設利用及び費用助成				

○総合評価 計画どおり

うまくいっている点



今後の進め方

・被災者の生活再建への支援、健康の維持について、支援することができ、継続要望の声も聞こえる。

・計画どおり平成30年度も実施する。

うまくいかなかった点



改善の方法など